

“日本文化の象徴”タブノキの森に触れる！

＝江の島鎮守の杜と江の電沿線の植生を学ぼう＝

報告者：湘南支部代表 奥平里美



江ノ島

こだまじんじゃ
児玉神社

江ノ島で最も自然
に近い神秘の森。

厳しい傾斜…人も動物も入りにくい自然と、自然の中の神を恐れる人々の心が守った、
タブノキ、スダジイ、クスノキの森がひろがっていた。

商店街坂道を上り、行列のできるタコセンベイを通り過ぎ、真正面に見える赤い鳥居を横目に、左へ。エスカ入り口の奥のほうに、その鎮守の森はひそんでいた。
今まで何度も江ノ島へ訪れていたのに、なぜ気がつかなかったんだろう。

江ノ島は、藤沢市の中でも最も土地本来の緑が残っている場所で、島の中でも至るところで潜在自然植生を発見することができた。



奥の森が、児玉神社の杜。



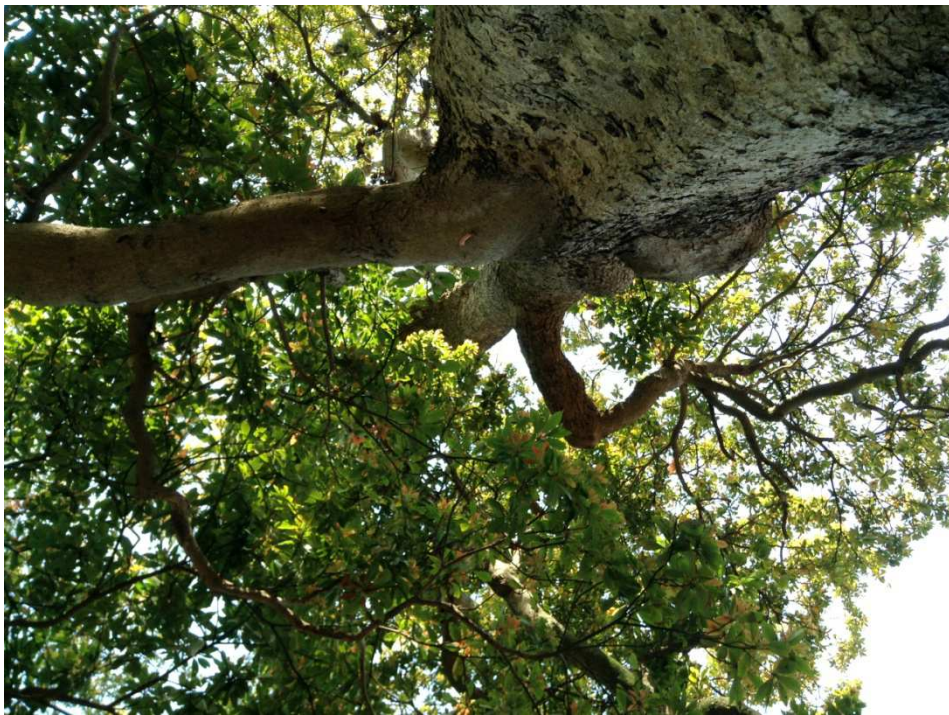
道行く人に、「何の木」ですか？と尋ねられた。関心をもつ人は多い。

アクセス：片瀬江ノ島駅



スダジイの魚付林。海に栄養を与えてくれる。

奥津宮まで行ったら、戻ってきて、羊糞屋さんの横の坂道から帰路へ。もう島を一周した頃には、心がすっかり開放され、体調が悪かった人も気に満ち溢れていた。



長谷

ごりようじんじゃ
御霊神社

樹齢 350 年、

奇跡のタブの木。

「この大木を見るだけの為に、訪れる価値がある」、歴史を刻んだ大木があった。厳かなその姿は「芸術」そのものだった。

アクセス : 江ノ電「長谷」より 徒歩 5 分



江ノ電にゆられ、長谷で下車。かの有名な長谷寺の裏にあった。線路沿いにずっと歩いていくと、踏み切りのむこうに見える不思議な神社が。



広い境内は、新鮮な空気に満ち溢れていた。



主催 :

NPO 地球の緑を守る会 湘南支部

参加者 : 高津さん (理事長)、赤澤さん、奥平家族

★次回の参加希望者大募集中!

参加者の感想。

「当日は最高のお天気でした！
新緑の美しい季節。ドングリや木の実実は拾えないけれど、少しピンクに染まった『タブの花芽』や、かわいい『ヤツデ、スダジイの若葉』がとても生き生きとしていました。ガイド役の高津さんが「これは何の木？」という質問が次々とやってきます。いつもは名前すら意識しなかったらう緑を、ひとつづつじっくり観察すると、たくさんの発見と喜びがありました。ありがとうございました。」

観察会の記録。

2013.4.15 晴天

《スケジュール》

10 : 00

小田急江ノ島線「片瀬江の島」駅前、マック集合*児玉神社のタブノキ林を観察、その後島を一周。島の中で昼食 (弁当は各自準備)

1 : 30

江の電で「江の島」駅出発

2 : 00 「長谷」駅下車

*御霊神社のタブノキを見学

*「長谷」駅で、おいしいケバフのお店でお茶会♪

4 : 00 解散

ケバフ鎌倉♪→



いま知ろう、日本が世界に誇る鎮守の森文化。